

読んで考えよう

公立中高一賞校 合格力講座

資料問題編①

「食品ロス」を減らす取り組みを



執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・はしあさこ

挑戦
佐賀県共通
2021年度 適性検査Iから抜粋
(一部改変)

はがくれ市に住むひろとさんは、総合的な学習の時間に、環境のことを調べ、食品ロスが大きな問題になっていることを知りました。それをもとに、家族と話をしています。次の会話文と【資料1】、【資料2】を読んで、問題1～問題3に答えましょう。

ひろとさん：本当なら食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」っていうんだね。日本では、それが1年間で一人あたり48kgにもなるって勉強したよ。

お母さん：ちょうど1月のはがくれ市の広報誌には、市が行った食品ロスに関する調査結果(【資料1】)が公表されていたわよ。はがくれ市では、まだ食品ロスをなくす努力が足りないようね。

ひろとさん：そうだね。資料から「」ということが分かるからね。

お姉さん：まだ食べられるのに捨てられてしまうなんて、もったいないわね。どんな理由で捨てられているのかわかるか。

ひろとさん：広報誌には食品が捨てられている理由も書いていたよ。調理された後の食べ残しが一番多いけど、食品を使い切れずに捨てるのも多いことが分かるね。

お姉さん：食べ残しをしないこと以外にも、食品を使い切れずに捨てることのないように何か取り組みが必要があるわね。

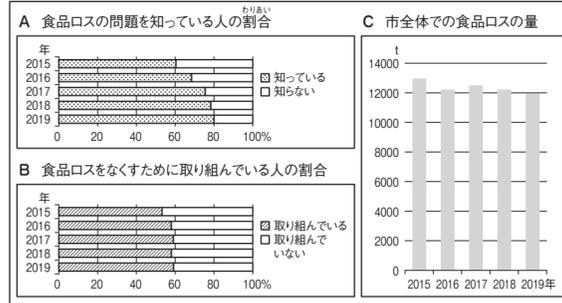
ひろとさん：ほくもそう思う。食品を使い切れずに捨てた理由(【資料2】)も知っていたから、食品ロスを減らすためにどんな取り組みができるか考えてみるよ。

お母さん：一人一人が、何かできることを考えて取り組んでいくといいわね。ところで、学校では何か取り組みを始めているの。

ひろとさん：まだなんだ。でも、ほくの学校での食品ロスといえば、給食の食べ残しだと思うんだ。今度、調べたことをしょうかいする発表会があるから、そこで学校のみんなに、*パネルを使って、給食の食べ残しをしないように呼びかけるつもりだよ。

*パネル：展示のために写真やポスターなどを貼ったうすい板。

【資料1】はがくれ市の調査結果



問題1 会話文の「」には、ひろとさんが、直前のお母さんの意見に賛成する理由が入ります。あなたなら、どのような理由を考えますか。次の《条件1》に合うように書きましょう。

- 《条件1》
- お母さんの意見に賛成する理由のもとにするグラフを、【資料1】のA～Cの中から2つ選び、その記号を書くこと。
 - 選んだグラフから読み取れることをもとに、お母さんの意見に賛成する理由を「～ということが分かるからね。」につながるように1文で書くこと。

問題2 ひろとさんは、【資料2】を見て、「食品ロスを減らすためにどんな取り組みができるか考えてみるよ」と言っています。あなたなら、食品ロスを減らすために、どのような場面でのようなことに取り組みますか。次の《条件2》に合うように書きましょう。

【資料2】食品を使い切れずに捨てた理由

- カビが生えてしまったから。
- くさってしまったから。
- 多く買いすぎてしまったから。
- 食品があることを忘れていたから。
- 期限が切れていたから。

- 《条件2》
- 食品を買った後の取り組みを考えること。
 - 【資料2】から具体的な場面を考え、「～するときには」につながるように書くこと。
 - 取り組みには、場面の解答「～するときには」からつながるように、どのようなことに取り組むかを書くこと。

問題3 ひろとさんは、「学校のみならず、パネルを使って、給食の食べ残しをしないように呼びかけるつもりだよ」と言っています。発表会では、説得力のあるメッセージを伝えるために、右の【図】のパネルと、次のアかイのどちらか1枚のパネルを使います。あなたなら、どのようなメッセージを考えますか。あとの《条件3》に合うように書きましょう。



ア たくさんの生産者の働く姿を表すパネル イ 日本で1年間に出る食品ロスの量を表すパネル



- 《条件3》
- アかイのパネルのどちらかを選び、その記号を書くこと。
 - 【図】と選んだパネルをもとに、メッセージを考え、「給食の食べ残しをしないようにしましょう。」につながるように書くこと。
 - 70～80字で書くこと。

まず 解いてみよう

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!

解 説

問題1 「はがくれ市では、～なくす努力が足りない」とあるので、資料は、市のありようを示すものと、取り組んでいる人のありようを示すものに着目し、そこでの割合や量の推移を見ていきます。

問題2 「食品ロス」の種類には、調理するとき食べられるところまで余分にカットしてしまう「過剰除去」、食品を保存し続けた結果、利用できなくなったとして捨ててしまう「直接廃棄」、出された食べ物を食べ切れず捨てる「食べ残し」の3つがあります。それぞれの場面をイメージして減らす工夫を考えてみよう。

問題3 アでは、食べ物が目の前に出てくるまでに多くの人々の手がかけられていること、イでは、日本の食品ロス量の膨大さ、そして、生活の中で私たちも何かをしていくべきことがわかります。

解 答 例

- 問題1 (記号) B・C (理由) 食品ロスをなくすために取り組んでいる人がまだ6割でいどで、市全体での食品ロスの量は12000トンからあまり変化していない(ということが分かるからね。)
- 問題2 (場面) 冷蔵庫の食材を使って料理(するときには)(取り組み) 傷みややすいものや賞味期限・消費期限が近いものから利用するようにする。
- 問題3 (パネル) ア (メッセージ) 食べ物は、生産者からスタートし、それを運び、加工し、販売し、そして調理する人と、多くの労力と思いがつながって食卓にやってきますので、感謝の気持ちをしっかり持って(給食の食べ残しをしないようにしましょう。)

毎週日曜に掲載します。